

2024年のロシアを見通す

東京大学先端科学技術研究センター特任助教

小泉 いずみ

悠 ゆう

- * 国境が特殊なロシア連邦
- * 2014年の決定的変質
- * 復活した古臭い世界観
- * 長寿化が連邦予算圧迫
- * 五年後の難しい選択
- * 経済が明から暗に転じたプーチン政権
- * 改革を巡るロシアのジレンマ
- * 重荷になるプーチンシステム
- * 強まる監視社会化
- * 塩漬の北方領土問題



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日は、数年前にシンポジウムでパネラーをされた小泉さんをお招きいたしました。1982年にお生まれで、早稲田大学の社会科学部、それから大学院の政治学研究科を経て、その後、民間企業でしばらく勤務をされました。その後、未来工学研究所で研究員として勤められ、現在は東大の先端科学技術研究センターの教授をされておられます。

ロシアでは、今年は下斗米伸夫さんとか、その前はNHKの石川一洋さんとか、いろいろな方にお話を伺っておりますが、今日は少し視点を変えて、今、軍事大国として注目を浴びているロシアの現在の状況、それから、演題にありますがように、「2024年のロシアを見通す」と

いうことで、これからのロシアがどうなっていくかということをお話しいただけると思います。それでは、小泉さん、よろしく願います。（拍手）

国境が特殊なロシア連邦

小泉 ただいまご紹介にあずかりました東京大学の小泉でございます。本日は、どうぞよろしく願います。

今お話にございましたように、2年前ですか、下斗米先生達と一緒にこの場でシンポジウムをさせていただきました。あのときもたしかロシアの現状と将来のようなテーマでお話をしたように記憶しております。それから2年が経ちましたので、また最新の状況を私がどう見ている